



企業版ふるさと納税のご案内

福島県の農業に関する プロジェクト

令和5年2月14日
福島県農林水産部

本プロジェクトに関する問い合わせ先
福島県農林企画課 024-521-7319

福島県の概要

- **人口** 183.3万人
東北6県では宮城県に次ぐ人口
- **県土面積** 13,784km² (全国 3 位)
うち 森林 9,740km² (全国 4 位) (71%)
農地 1,373km² (全国 7 位) (10%)
⇒**県土の8割が中山間地域**
- **地域** (3 地方、7 地域からなる県土)
 - ・浜通り (相双地域、いわき地域)
 - ・中通り (県北地域、県中地域、県南地域)
 - ・会津地方 (会津地域、南会津地域)
地域ごとに異なる気象条件
⇒**特徴を活かした地域性豊かな農林水産業を展開**
- **地理条件**
 - ・東京から200km圏の位置にあり、巨大な人口を有する首都圏に隣接
⇒**農産物等を首都圏等大消費地へ供給**



福島県の農林水産物（ふくしまを代表する農林水産物）



トマト
(収穫量：全国第**8**位)



日本なし
(収穫量：全国第**4**位)



米
(収穫量：全国第**6**位)



もも
(収穫量：全国第**2**位)



りんどう
(出荷量：全国第**4**位)



福島牛



きゅうり
(収穫量：全国第**1**位(夏秋))



アスパラガス
(収穫量：全国第**9**位)



川俣シャモ



会津地鶏

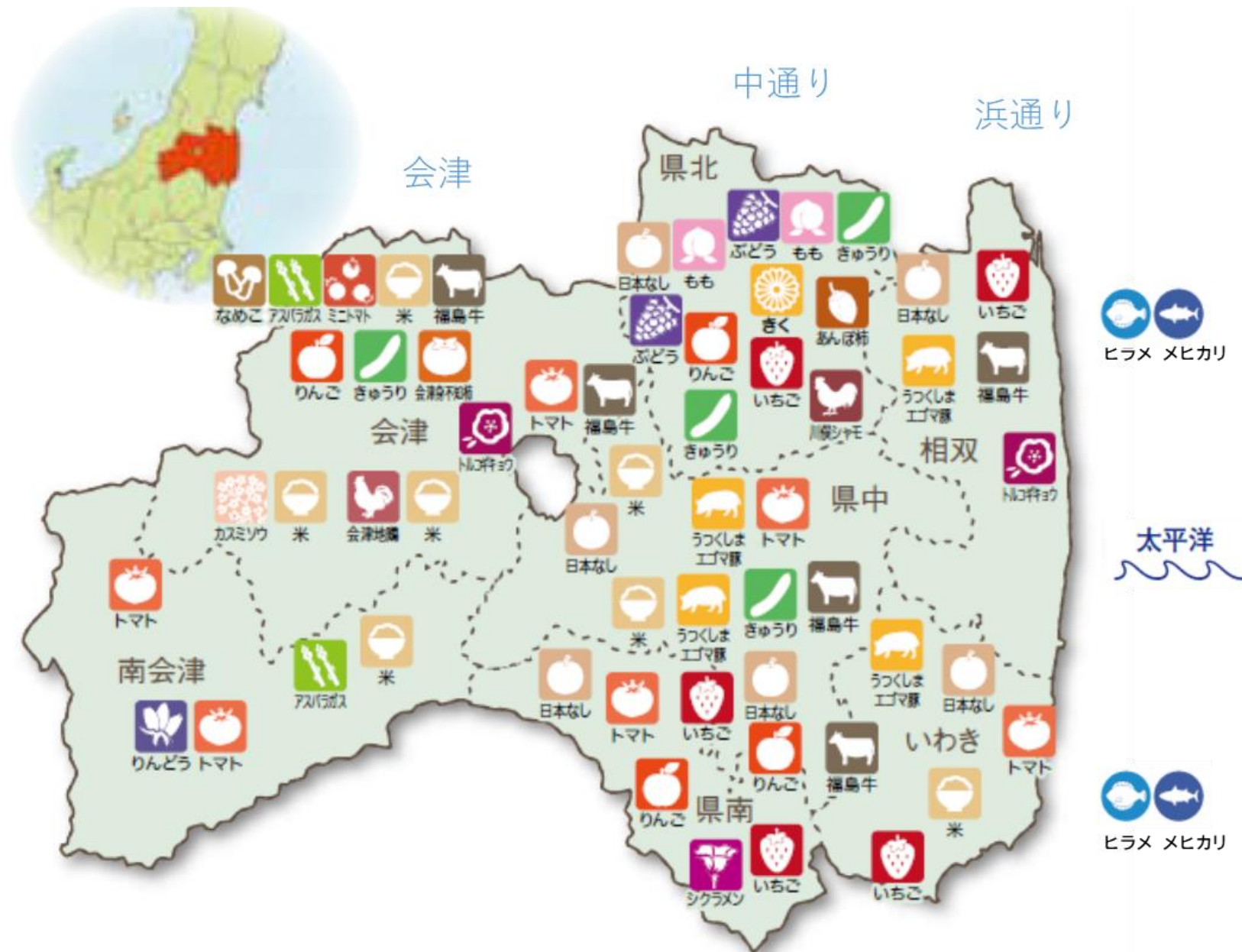


なめこ
(生産量：全国第**4**位)



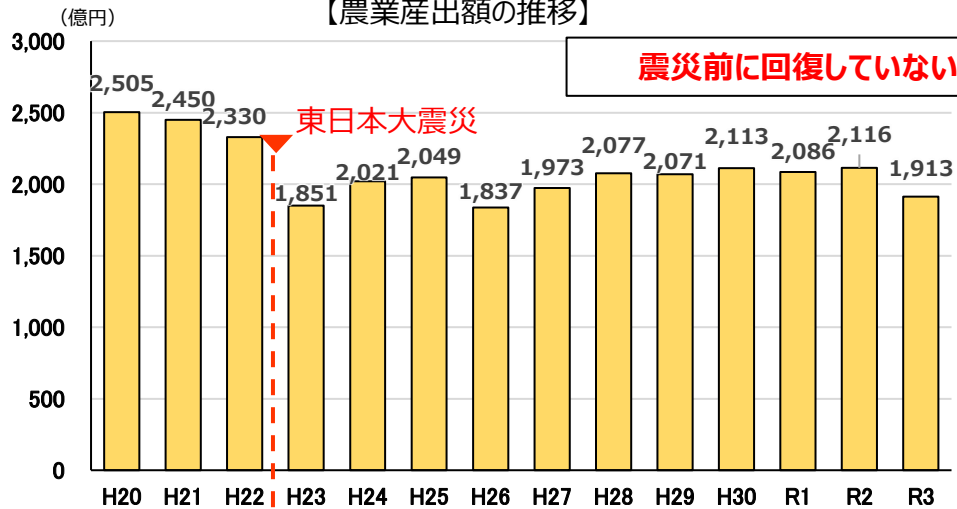
ヒラメ

福島県の農林水産物 産地マップ



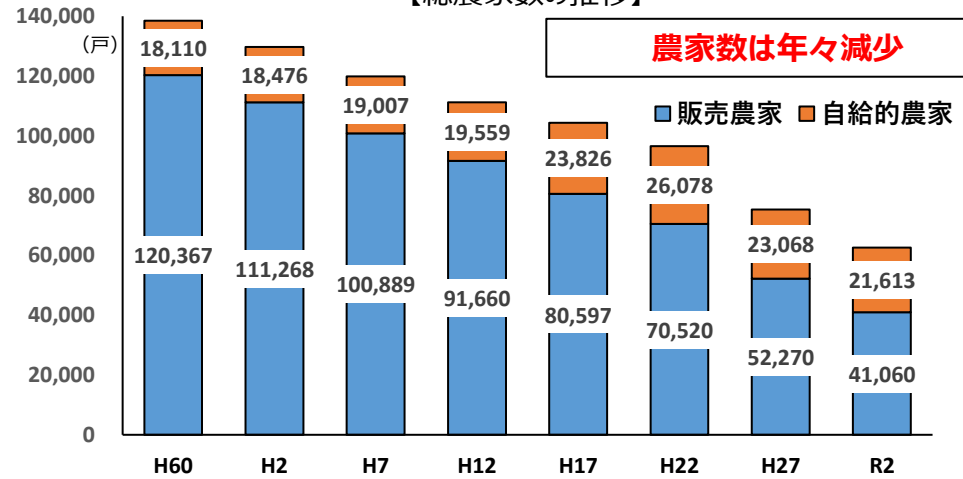
福島県の地方創生（農業）の課題

【農業産出額の推移】



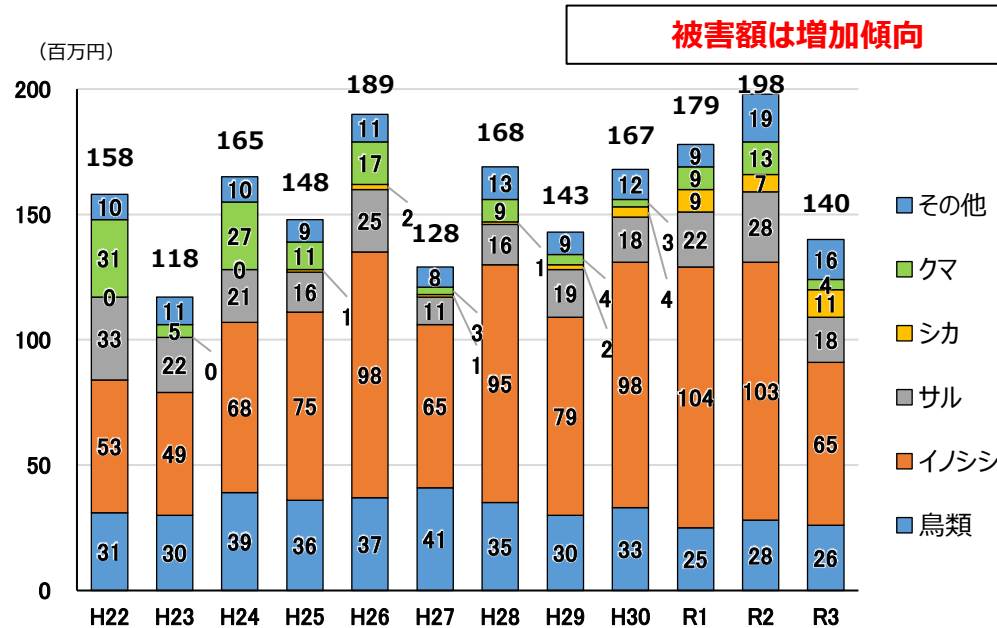
出典：農林水産省「生産農業所得統計」

【総農家数の推移】



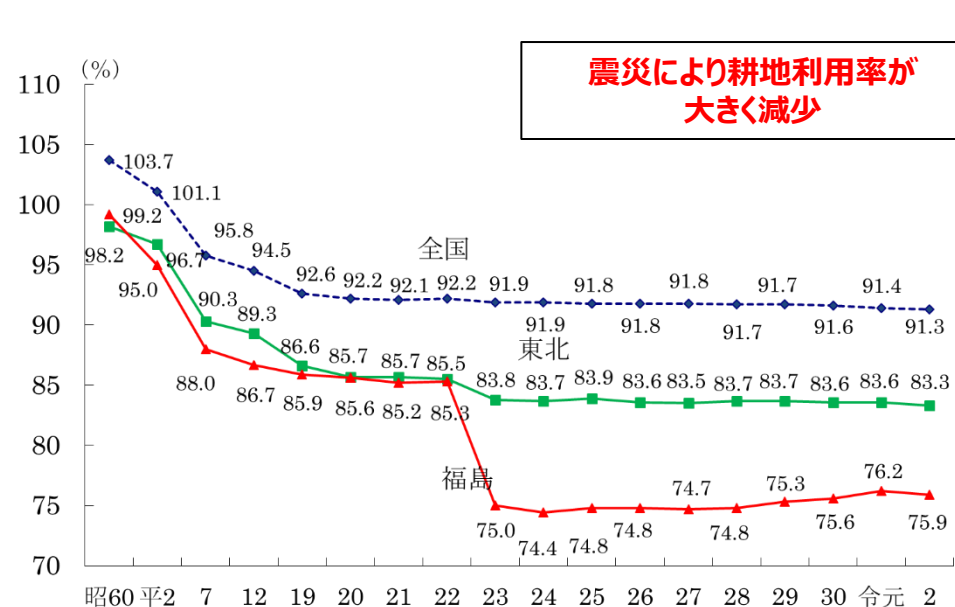
(出典) 農林水産省「農林業センサス」、総務省「国勢調査」

【野生鳥獣による被害額の推移】



(出典) 福島県環境保全農業課調べ

【耕地面積の推移】



出典：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

課題解決のための3つのプロジェクトの取組

➤ I 「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト **（ものづくり）**

- ・6次化による新たな地域産業の創出
- ・安定需要に応じるための農産物供給強化

➤ II 農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト **（人づくり）**

- ・住む（移住）×仕事（就農）による新規就農者確保と担い手育成
- ・浜通り地域等の人手不足解決、交流人口UP

➤ III 中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト **（地域づくり）**

- ・関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化
- ・農業生産から販売までを通した新たな地域農業経済モデルの創出

I 「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト

「ふくしまの宝」= 本県の基幹産業である農業



地域産業 6 次化

地域経済の活性化

ICT

担い手育成・確保

スキルアップ

取組による効果

6 次化による新たな地域産業 → 他業種との連携 → 交流人口の増加

ICTを活用したモデル実証

→ 気候変動への対応

有機農業担い手育成・確保

→ 移住定住を促進

酪農経営の効率化

→ 規模拡大

→ 雇用の創出

地域経済の活性化

「もの」の生産力強化が、地域の「しごと」を生み出し、新たな「ひと」を呼び込む

ご寄付頂くメリット

- 感謝状をお送りさせていただきます。
- ホームページや事業のチラシなどにて企業名を掲載いたします。

関連事業

I - 1 ふくしま地域産業 6 次化サポートセンター事業

I - 2 スマート農業プロセスイノベーション推進事業

I - 3 ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業

I - 4 次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業

I - 1 ふくしま地域産業 6 次化サポートセンター事業

地域産業 6 次化

所得や雇用の
確保

地域経済の
活性化

取組

- ◆ 地域産業 6 次化推進のため、県内各地にサポートセンターを配置
- ◆ 農林漁業者や加工事業者、販売事業者等によるマッチングや、人的交流を目的とした交流会の開催
- ◆ 新商品開発等を地域ぐるみで行うビジネスモデルの創出支援



開発を支援した 6 次化商品の例

めざす姿

- ◆ 地域の特徴を活かし、農産物→食料品製造→卸売・小売・飲食等と地域全体をつなぐことで、付加価値を増やして稼ぐ力が向上。
- ◆ その結果、「ふくしまの宝」による地域経済の活性化が図られる。



多くの事業者が参加した交流会の様子

I-2 スマート農業プロセスイノベーション推進事業

(小事業：ICT活用園芸産地革新モデル確立事業)

気候変動

ICT

高位平準化

取組

- ◆ 県内4箇所へのICTを活用したモデル実証ほ設置・運営支援
- ◆ データに基づく試験研究機関等の交えた技術の改善支援
- ◆ 先端技術の確立と課題の共有

めざす姿

- ◆ 農業者自らがデータに基づく品質及び収量低下の要因を解析し、技術対策を実施
- ◆ 収量・品質の高位平準化による産地の信頼確保
- ◆ 先端技術の自発的な県域展開



I-3 ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業

有機農業
就農支援体制整備

有機農業研修支援

有機農業
担い手育成・確保

取組

- ◆ 有機農業に関する就農相談窓口の設置や就農フェアの開催等、有機農業希望者の受入れ体制整備に必要な経費を支援する
- ◆ 有機農業研修の実施に必要な整備（研修施設）や運営に係る経費を支援する

めざす姿

- ◆ 有機農業希望者へのサポートを充実し、他地域への本県有機農業の発信力を高めることなどから、**有機農業を希望する人材を確保**する
- ◆ 就農希望者が安心して有機農業を始められ、有機農業実践力を短期で習得できる体制を整備し、**有機農業の新たな担い手を育成**する



I -4 次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業

モデル展示

スキルアップ

取組

- ◆ 酪農経営の効率化に向けモデル展示及び他酪農家への波及支援
- ◆ 乳用牛の飼養技術のスキルアップ研修会の開催支援

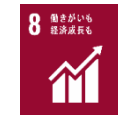


めざす姿

- ◆ 将来を担う酪農家の経営管理能力の向上
- ◆ 若手酪農家が、持続的生乳生産を行うための乳用牛の飼養管理技術の習得



Ⅱ 農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト



新規就農

就農支援

マッチング

労働力確保

取組による効果

「お試し就農」の実施
啓発・体験から相談まで切れ目のない支援 → 就農先の確保及び定着

浜通り地域等の農業労働力確保・供給のモデル事業構築 → 産地の維持・発展

農業で人と人がつながることで、
ふくしまの農業を支える担い手の安定的な確保を実現

産地の
活性化

ご寄付頂くメリット

- 感謝状をお送りさせていただきます。
- ホームページや事業のチラシなどにて企業名を掲載いたします。

関連事業

- Ⅱ－１ ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業
- Ⅱ－２ 農業繁忙期解消型労働力確保・供給モデル事業

Ⅱ－1 ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業

新規就農

就農支援

マッチング

取組

- ◆ 就農希望者を、雇用就農者を求める県内の農業法人等へ派遣する「お試し就農」により、正規雇用へ向けたマッチングを実施
- ◆ 就農ポータルサイト等での情報発信と各種イベントを連動し、啓発・体験から相談まで切れ目のない支援を実施
- ◆ 県内の農業高校等と連携し、未来の就農者を生み出すための農業体験や農業者との交流事業を実施

めざす姿

- ◆ 県内外の農業未経験の若者が、当県農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根差しながら安定して農業が行える環境
- ◆ 特に県外からの新規就農者が定着し、先輩としてサポートすることで、人が人を呼び込む好循環ができあがり、多くの産地が活性化される
- ◆ 主流となっている雇用での就農希望者に対し情報提供、研修、法人とのマッチングが図られ、また就農後も、地域農業を支える担い手が確保される



Ⅱ－2 農業繁忙期解消型労働力確保・供給モデル事業

労働力確保

モデル構築

農業体験ツアー

取組

- ◆ 浜通り地域等を対象に農業労働力を確保・供給するモデルを構築
- ◆ 浜通り地域等において、首都圏の若者等を対象に農作業体験と地域交流を併せたツアーの実施



めざす姿

- ◆ 浜通り地域等の「営農再開の加速化」と「産地の維持・発展」
- ◆ 浜通り地域等の「関係人口の拡大」と「地域の活性化」



Ⅲ-1 みんなでつなぐ中山間地域等農業推進事業

関係人口

地域ビジョン

ふるさと再生

取組

- ◆ サポートチームによる地域の話し合いや集落活動の支援
- ◆ 地域の方向性を示したビジョンづくり
- ◆ 関係人口との交流活動

めざす姿

- ◆ 関係人口との関わり強化
- ◆ 持続的に発展する地域モデルの創出
- ◆ 魅力あふれる誇れるふるさとの再生



Ⅲ-2 鳥獣被害対策強化事業

自然環境との共生

専門人材

取組

- ◆ 住民と野生鳥獣の棲み分けや里山の山地化防止に向けた専門人材の確保・育成
- ◆ 専門人材が市町村等において、自然環境と共生した農村づくりをコーディネートする活動を支援

めざす姿

- ◆ 専門人材のコーディネートすることで、住民主体の鳥獣対策や里山環境管理体制を構築
- ◆ 野生鳥獣による農作物被害金額の減少
- ◆ 地域農業者の生産意欲向上による農村地域の活性化



Ⅲ－３「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業

認知度向上

地産地消

県育成品種

取組

- ◆ 県内の駅、商業施設や花き利用施設(ホテル等)での県産花きの展示 P R。
- ◆ 県民等が県産の花理解し、花に囲まれた日常を送るなど、花に親しむための活動をまとめた「ふくしまの花を愛でるライフスタイル」の県民への提案。
- ◆ リンドウ、カラーの県育成品種の導入を支援。



めざす姿

- ◆ 県産花きの認知度向上による利用拡大。
- ◆ 県民が県産の花を知り、日常生活での利用促進が図られることで、生活を豊かにする。
- ◆ 県育成品種を活用した生産、販売の向上。



Ⅲ-4 果樹園地継承促進事業

産地振興

担い手確保

担い手育成

取組

- ◆ 関係機関、団体との協議による園地継承の仕組みづくりへの合意形成。
- ◆ 果樹農家へのアンケートによる、継承候補園地のリスト作成。
- ◆ 新規就農者が技術を習得するための研修用園地の整備。



めざす姿

- ◆ 優良な果樹園地を、意欲のある新規就農者等に継承し、有効活用するための仕組みが構築される。
- ◆ 果樹の新規就農者の技術習得が円滑に進む。
- ◆ 新規就農者の果樹部門への参入が増加する。



Ⅲ-5 みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業

環境保全型
農業

SDGs・温室
効果ガス削減

地域ぐるみ

取組

- ◆ 環境と共生する農業の地域リーダーの育成や技術習得の支援
- ◆ モデル地区における推進と支援体制整備、地域ぐるみの活動支援
- ◆ 環境保全型農業コンテストと交流大会の開催

めざす姿

- ◆ 環境保全型農業の拡大により「福島ならではの農業」の復活
- ◆ 土壌炭素貯留量の増加により温室効果ガス排出量の削減
- ◆ 農業者への理解促進や技術向上を図り、有機農業をレベルアップ
- ◆ 本県産有機農業・特別栽培農産物の供給拡大



Ⅲ-6 福島大学と連携した地域農業モデル創出事業

維持管理の
軽減

果樹の
技術継承

福島大学との
連携

取組

- ◆ 福島大学と連携し、地域の課題を克服
- ◆ 旧避難地域を仮想過疎地域と位置付け、水路の土砂上げ、農地の草刈りなど維持管理を軽減する地域モデルを検証
(スマート農業の活用+スマート農業の実装に向けた整備)
- ◆ 新規就農者の早期の技術習得のため、スマートグラス等を用いて果樹の技術継承システムを構築

めざす姿

- ◆ 少数で維持管理ができる農業基盤を整備
- ◆ 新規就農者の早期の経営安定化



草刈りや水路の土砂
上げには人手が必要



熟練農家の
技術を3D
で体験